

F2-13

散策マップによるまちの魅力的空間の研究
散策マップの分析
Study of attractive space of town by walking map
Analysis of walking map

○阿部達¹, 牟田聡子², 八藤後 猛²*Satoru Abe¹, Satoko Muta², Takeshi Yatogo²

Many local governments propose walking routes by creating walking maps aimed at attracting tourists. However, walking maps are created only where there are tourist resources, so they are limited. In addition, it is difficult for local residents to use it due to the increase in tourists. It is necessary to create a walking map that is easy for local residents to use by using the space in everyday life. As a result, there are many walking maps centered on tourist resources, and the more tourist resources there are, the more themes of walking are. Also, because short walking maps have not been created, It is difficult for local residents to take a long walk. Therefore, it is necessary to propose a walking map that is easy for local residents to use.

1. 研究背景と目的

多くの自治体では、観光客を呼び込むことを目的として、散策マップを作成して散策ルートの提案をしている。そのため、散策マップには、観光資源が多く用いられている。その結果、散策に関わる空間は、魅力ある空間となり、多くの人々が利用するようになる。しかし、観光資源がある場所でしか散策マップは作成されていないため、場所が限られてしまう。また、観光客が多く利用することにより、地域住民には利用しにくい可能性がある。日常にある空間で散策をより良く、地域住民にも利用しやすい空間にしていくべきと考える必要がある。

2. 研究方法

散策に関する論文を取り上げ、散策によって、何が得られるのか、どういった空間が散策するエリアに選ばれたりするのかを調べる。そして、散策マップがどのような特徴があるのかを取り上げる。また、Google earth を利用し、空間を把握していく。

3. 研究結果

3-1. 文献調査

外井ら¹⁾によると、散策は健康維持を目的とする場合が多く、見晴らしがよい空間が散策経路に選ばれやすい。さらに散策時間は1時間未満の散策が多く、散策のコースは水辺、風景といった自然や静かさを好む傾向があるとしている。和田ら³⁾は京都市において、散策地の距離に着目し、当該学区とその隣接学区を超えた遠い学区との散策（以下「遠出型」という）と当該学区内々

の散策、当該学区とその隣接学区間の散策（以下「近隣型」という）と分類した。このうち4:6の割合で「近隣型」が多く、静けさを中心とした快適性が主体としつつ、散策のネットワーク形成を図ることが重要であると述べられている。

3-2. マップ調査

自治体より発行されている散策マップにより、散策の分析を行う。散策マップは栃木県栃木市、東京都文京区および谷根千地区を使用した。の特徴を取り上げる。

【栃木市 図1⁴⁾】

駅からのスタートが多いため、駅からの散策コースに絞り、分析を行った。

- ・散策に必要な時間は約1時間かかるが、見学を含めるとなると、2時間以上かかる。
- ・歴史や文化をテーマにした散策マップである。
- ・昔を味わうことができる空間となっており、開放的である。

【文京区 図2 図3⁵⁾】

- ・6つのエリアに分けられている。
- ・散策コースの選択肢が豊富。伝統や文化だけでなく、現代の建物や庭園などが組み込まれている。
- ・人との遭遇が多い。
- ・建物の高さも高いため、窮屈になりやすい。

【谷根千地区 図4⁶⁾】

- ・寺や神社が多い。
- ・蛇道は道が狭く、住宅に囲まれている

1 : 日大理工・学部・まち 2 : 日大理工・教員・まち

4. 考察とまとめ

以上の結果から、以下のような示唆が得られた。

- ・スタート地点からゴール地点までの間に観光スポットがある。
- ・短時間での散策は作成されていないため、短時間の利用は厳しい。
- ・観光スポットが多いほど散策のテーマが豊富。
- ・日常にある空間は利用されていない。

以上から、散策をするにあたって、観光資源だけでなく、日常にある空間で散策マップを提案し、その空間に住んでいる地域住民に利用され、その地域の魅力を再認識する必要があると考える。今後は、Google earth を利用し、空間を把握し、さらに分析を進めていく。

5. 参考文献

- 1) 外井哲志, 坂本紘二, 井上信昭, 中村宏, 根本敏則 : 「散歩経過の道路特性に関する研究」, 土木計画学研究・論文集, No14, pp797~798, 1997. 9
- 2) 外井哲志, 坂本紘二, 井上信昭, 中村宏, 根本敏則 : 「散歩行動の実態とその類型化に関する研究」, 土木計画学研究・論文集, No13, pp749, 1996. 8
- 3) 和田章仁, 材野博司 : 「観光都市京都における散策空間の設備」, 土木計画学研究・論文集, No12, pp354, 1995. 8
- 4) 蔵の街 のんびり散策マップ 中央エリア 観光 - 栃木市観光協会
https://www.tochigi-kankou.or.jp/assets/data/kura_nonbiri.pdf, 最終閲覧日 : 2021. 9. 19
- 5) 文京区観光ガイド
<https://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/kanko/mac-hiaruki/guide.html> , 最終閲覧日 : 2021. 9. 19
- 6) 東京 谷中・根津・千駄木 - 旅をおもしろくする観光地図 | 今八
<https://imahachi.com/08kanto/yanesen/>, 最終閲覧日 : 2021. 9. 19



Figure1. A leisurely stroll map of Kuranomachi



Figure2. Bunkyo Ward Tourist Guide Nezu & Sendagi area

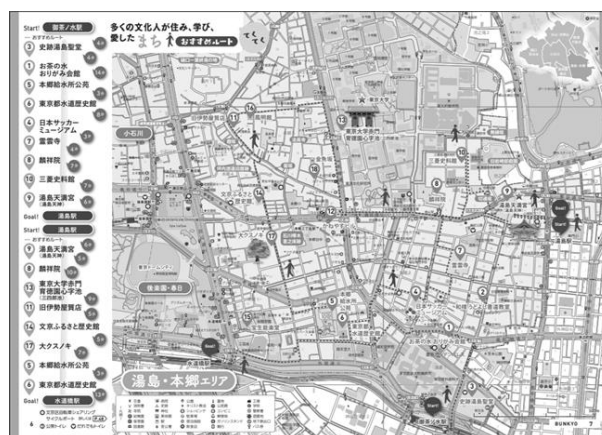


Figure3. Bunkyo Ward Tourist Guide Yushima & Hongo area



Figure4. Yanesen map